

# DJ-X11 取扱説明書[補足シート]

## [ご注意]

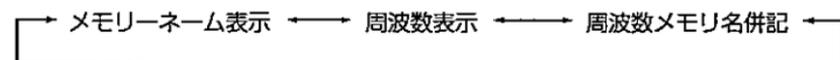
- 1: バッテリーや乾電池の容量が少なくなっている時に電源を切ったり、知らない間にバッテリーが放電して液晶画面が消えていたりした時に、正しく電源を供給してスイッチを入れ直してもまれに電源が入らない場合がありますが、異常ではありません。一度バッテリーパックや乾電池ケースを本体から取り外し、AC アダプターを抜いて 5 秒程度待ってから再度新しい電池が入った乾電池ケースや正しく充電されたバッテリーパックを取り付けるか、充電が必要なバッテリーパックを装着して AC アダプターを受信機右横の外部電源端子に接続して電源を入れて下さい。「電源が入らないときは全ての電源供給機器を一旦受信機から外して 5 秒ほど待ち、もう一度やりなおす」とご記憶ください。
- 2: バッテリーセーブ機能を有効にして、DJ-X11 の電源を入れたまま充電スタンドを使用した場合、満充電に近い状態になるとスタンドの充電ランプが点滅する場合がありますが故障ではありません。この状態で充電は完了していますし、機器に悪影響はありません。受信機の電源を切った状態か、電池単体で充電すればこのような点滅は起こりません。

## [機能の追加]

メモリーモードでメモリーネームを表示中、周波数も合わせて表示するかどうかを選べます。

### P.92.10-6-2 メモリーネーム表示設定

**2** ダイアル(下)を回して「メモリーネーム表示」⇔「周波数表示」⇔「周波数メモリー名併記」を選択します。



「メモリーネーム表示」にしている時は、[MONI]キーを押している間だけ一時的に周波数が表示されます。

「周波数表示」にしている時は、[MONI]キーを押している間だけ一時的にメモリーネームが表示されます。

「周波数メモリー名併記」にしている時は、ネームと周波数が常に表示されますが、Sメーターは表示されません。[MONI]キーを押している間だけ一時的にSメーターを表示することができます。

## [誤記訂正]

### P.109

誤: 0.05/0.1/5/6.25/8.33/10/12.5/15/20/25/30/50/100/125/  
150/200/500kHz/1MHz

正: 0.05/0.1/1/5/6.25/8.33/10/12.5/15/20/25/30/50/100/125/  
150/200/500kHz/1MHz

- **Sメータ表示設定**

- ・ **機能**

電波の強さを表示するSメータ表示を消えにくくすることで、瞬間的に発射される電波の強さを見やすくすることができます。この機能を「通常」以外に設定しても受信性能に影響することはありませんが、設定値を長くするとデータ信号のような短いパーストを連続受信するときに、受信している実際の信号強度とSメータの表示にずれが生じることがあります。

- ・ **操作方法**

- 1、セットモードに入ります。
- 2、「表示設定」のサブメニュー「Sメータ表示設定」にします。
- 3、ダイヤル(下)を回して、Sメータが消えるまでの時間を調節します。見やすいと思われる時間を選んでください。ダイヤル(下)を回して「通常」⇔「10ms」～「200ms」を選択します。設定値を大きくするほどSメータのセグメント表示がピーク表示からゼロに向かってゆっくり戻るようになります。

- ・ **参考**

ACARS・AIS等のデータ通信やラジオテレメトリーと呼ばれる野生動物の生態調査に使用されているピーコン電波のように、短く早いパースト信号の強度視認などに応用できます。

- **IQ信号のシフト出力**

- ・ **機能**

受信ソフトの中には、実際の周波数より特定の幅を上下にずらしてIQ信号を入力しないと動作しない物があります。目的信号の周波数とIQ信号出力時の周波数がずれていると直感的に操作しにくくなるので、この差をIQ信号出力側で補正するためのパラメータです。

- ・ **操作方法**

- 1、セットモードに入ります。
- 2、「受信設定」のサブメニュー「IQ信号出力」にします。
- 3、ダイヤル(下)を回して有効、を選びます。この状態でIQ信号が出力されます。初期値はシフト0kHz(無し)で、VFO周波数のIQ信号をそのまま出力します。
- 4、もう一度「SHIFT/0」キーを押すと0kHz表示が白黒反転しますので、ダイヤル(上)を回してシフト幅を選択します。設定出来る値は-24kHzから+24kHzで1kHzステップです。「SHIFT/0」キーを押すと設定が確定してIQ信号を出力、表示が元に戻ります。

- ・ **参考**

設定したシフトは電源を切ったあとも記憶されますので、別の受信ソフトを使う場合は改めて設定し直して下さい。